

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立青山中学校

校長名 平塚 剛

| 市の重点課題 | 学校の重点項目 | 自己評価 | 達成状況 | 学校関係者評価委員会から | 改善の方向 |
|---------------------------------|---|------|---|--|---|
| 希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成 | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びを調整し、個別最適に学び続けることができるように、ICTの活用や学びの場を工夫する。 ・「ぎふMIRAI's」のコンセプトを総合的な学習の時間の計画に取り入れ、指導を進めていくことで生徒の資質・能力の育成につなげる | A | <ul style="list-style-type: none"> ・どの教科指導においても、ICT機器を活用し、個別学習と協働学習を効果的に位置付けたため、学習アンケートでは「教科の授業は将来の役に立つ86%」「教科の授業はよくわかる81%」であった。 ・「ぎふMIRAI's」で、岐阜空襲や地域探索など、全ての学年で位置付けたため、岐阜のよさを実感できる姿が見られた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を自在に使い、学ぶ生徒の姿に驚いた。また、小グループでの話し合いが活発に行われている。こうした姿が学力向上にどれだけつながっているか検証してもらいたい。 ・各学年のテーマに関して、講話や体験活動が位置づけられていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別かつ協働の学びの質がさらに向上する手立てを工夫し、授業のOS転換を加速的にすすめる。 ・総合的な学習の時間において、自分が立てた問いに対して深く調べ、情報を整理し、まとめ・表現する活動が充実できるように、資質・能力の育成につなげる。 |
| コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの組織を生かし、地域の行事等に積極的に参加できるようにはたらきかけ、地域人材の育成に繋げる。 ・小中の連携を行うことで、校区の財産としての挨拶活動になるように努める。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア部会や地域活動部会を中心に、生徒が活躍できる場を計画的に位置付けたため、約90%の生徒が進路を考える大切さを実感した。また、地域ボランティアに参加した生徒が30人ほど増えた。 ・生徒会と児童会が連携し、挨拶運動を行い、気持ちのよい挨拶が広まった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に積極的に参加したり、ボランティアとして活動してくれたりして、地域を大事にする姿が多く見られた。また、中学生から意見を聞く場を設けることができてよかった。 ・校区の小中学校が挨拶活動のつながりをもとに、さらに連携し、互いに学び合える機会があるとよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域からの依頼を学校が受ける形ではなく、より学校と地域が協働して生徒に資質・能力を育成する組織にしていく。 ・来年度も校区の児童生徒が関わる場を位置づけ、互いに学び合える機会を模索する。 |
| あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・教師一人一人の強みを生かし、そのよさを生かしながら、学校経営にあたる。 ・学校の実態に合った研修を実施し、教職員の資質向上につなげる。 ・学校行事や教育課程等を見直し、負担軽減を図る。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・教師一人一人が自分の強みを見つけたり、価値観の違いを理解したりする機会となるように、自己表現できる場を増やしたため、創造力を働かせて粘り強く指導する姿が見られた。 ・各行事で願う姿を明確にすることで、行事への取り組み方や教育課程の見直しができるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・チーム担任制は教師一人一人の強みを生かしたよい取組で、大変面白い取組である。しかし、これまでと変わることによって生徒や保護者が戸惑う可能性もあり、注意が必要である。 ・定期的に職員研修が実施されており、先生たちが力量を高めようと努力している。 ・限られた時間の中でより効果が上がる教育活動を実施していることが分かった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教員の個性や持ち味を生かして、組織の力で生徒の主体性を育むチーム担任制を実施する。その際には、PDCAとOODAのマネジメントサイクルを意識して取り組む。 ・体育大会や合唱祭、自分の今を語る会等の学校行事について、生徒主体で取り組み、生徒たちが満足でき、学びの多いものとなるよう議論を重ねていく。 |
| 災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あちゆる事故」事案を想定して命を守る訓練を実施したり、危機管理マニュアル等を周知・活用したりして、生徒が安心・安全に生活できるようにする。 ・「ここタン」、「こころのアンケート」などを活用して、子ども一人ひとりの心に寄り添う指導をすすめる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・事案対応マニュアルをもとに、生徒の命を守ることを最優先に、命を守る訓練や事故対応、警報発令時等の対応をしてきたため、全生徒の命を守ることができた。 ・毎月のいじめアンケートや毎日のここタンなど、あらゆる機会を通して生徒の悩みに寄り添い続けることで、生徒が安心して生活できるようにした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練や毎月のいじめを見逃さない日などで生徒の安心・安全を守る時間を十分に確保できている。ぜひ、全員にとって楽しい学校となるようにしてもらいたい。 ・ここタンの取組は大変興味深く、生徒の心身の状況を常に把握することで、即時的な対応につながる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きた時に焦らず、慌てず、臨機応変な行動で避難できるように訓練方法を見直す。 ・ここタンや定期的な心のアンケートで気になる様相があった場合はすぐに生徒に話を聞くとともに、情報を共有して問題解決につなげる。また、指導したことはその日のうちに保護者に伝え、共に解決方法を探っていく。 |
| 教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・各管理場所の定期点検を確実に継続するとともに、修繕の必要がある場合は、迅速に対応する。 ・学校財務においては、適切な環境となるように定期的な監査を位置付け、対応する。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検後だけでなく常時修繕が必要な案件は、教育委員会や業者と連携し、迅速に対応できた。 ・定期的な監査によって、計画に沿った適切な会計事務であることが認められた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、丁寧な点検が実施されており、生徒も掃除を一生懸命に行っているため、学校がきれいに保たれている。また、修繕なども適切に対応されていることが分かった。 ・公金が適切に取り扱えるよう、丁寧な会計監査が実施されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検や日頃の施設点検を実施し、特に生徒の安心・安全が脅かされる状況があれば迅速に市教委と連携し、修繕につなげる。 ・公金の適正な取り扱いができるよう、事務職員と管理職から指導するとともに、会計担当者と日頃から密に連携をとっていく。 |

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/seizan-j/>